

報道関係各位

2018年9月20日

世界的な社会的責任投資指標「Dow Jones Sustainability Index」 の構成銘柄に継続選定

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、世界的な社会的責任投資指標である Dow Jones Sustainability Indices（ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、以下 DJSI）のアジア・太平洋地域版「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に2年連続で選定されました。LIXIL グループは、世界の建設関連製品部門において4位という高い評価を獲得しました。

LIXIL グループは、サステナビリティ（持続可能性）を重視し、その要素を事業戦略に組み込むとともに、組織や地域の枠を超えたグローバルでの推進体制を強化してきました。こうした継続的な取り組みが今回の DJSI 構成銘柄への選定につながっています。加えて、特に環境方針と環境マネジメントシステム、労働慣行、労働安全衛生、リスクマネジメントおよび危機管理といった環境、社会面の取り組みに関して、従来よりも高い得点を獲得することができ、相対的な評価も向上しています。

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**In Collaboration with RobecoSAM 

DJSI は、社会的責任投資に関する代表的な指標であり、同分野を専門とする調査・格付け機関である RobecoSAM 社が、年1回、世界の主要企業の持続可能性を評価し、構成銘柄の選定が行われています。今年度は世界の主要上場企業 2,000 社超を対象に、経済、環境、社会面の取り組みについて調査・分析が行われ、「DJSI Asia Pacific Index」には、計 150 社が選ばれました。

株式会社 LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL は、責任ある持続可能なイノベーションを追求し、世界中の人びとの暮らしの質の向上とビジネスの成長を同時に実現していくことを目指しています。この度、DJSI の構成銘柄に継続選定されたことを大変誇りに思います。当社にとって、環境、社会、コーポレートガバナンスの分野に継続的に取り組むことは、今年スタートした新中期経営計画で掲げている持続的な成長を実現していく上で、非常に重要な基盤となります」

なお、LIXIL グループは同様の取り組みが評価され、2018年6月と7月には、世界で認知されている社会的責任投資の代表指数である「FTSE4Good Global Index」と「FTSE Blossom Japan Index」および性別多様性の分野で優れた取り組みを行う日本企業を対象とした「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄にも選定されました。

■ LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2018年3月期に1兆6,648億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>